

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(4日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	倉敷市	代表者名	伊東香織		
担当者部署	デジタルガバメント推進室	連絡先電話番号	086-426-3219		
担当者役職	主事	担当者氏名	洲脇達也	連絡先E-mail	
住所	710-8565 岡山県倉敷市西中新田640				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三輪 修平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	受講生の研修に対する反応が良かったため。現物を使えない状態でありながら、分かりやすい例えで説明していただいております。とっつきやすい内容だったと思う。一番良かったのは、研修内容を受けてのグループワークが非常に盛り上がっていたこと。業務改善できることはないかという難しい沈黙しそうな内容にもかかわらず、盛り上がったのはそれまでの研修が良かったからだった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月2日	9時00分	12時00分		180
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	19人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	AI・RPAについて職員の知識が乏しく、業務改善に活かせない。指導しようにも詳細に語れる職員が不存在。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	業務効率化を目指す上で、AI・RPAの活用を選択肢の一つとすることが出来るようになることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	AI・RPAとはどのようなもので、何が出来るか、どういった業務に利用できるかの研修。WinActorのシナリオ作成で出来ること、変数・分岐処理の解説、AI-OCR・電子申請・パワーケリ、プログラミング的思考、アジャイル的導入、議事録AIについての解説	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	AI・RPAについて理解度合いの大小はあるが、存在を知った職員が確実に増えた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度は低くはないものの1~2回目に比べると少し下がった。原因は対象者が技師中心だったため、自分の業務と結びつかなかったことが原因と考える。ただ、それでも半数以上は満足度4以上(5段階評価)であり、AI・RPAを使ってみようという意見がほとんどの方から出ていたので目的は果たせていると考える。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	庁内の職員全員がAI・RPAをExcelやWordのように身近なものとして考えられるようになること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

